

新千葉新聞

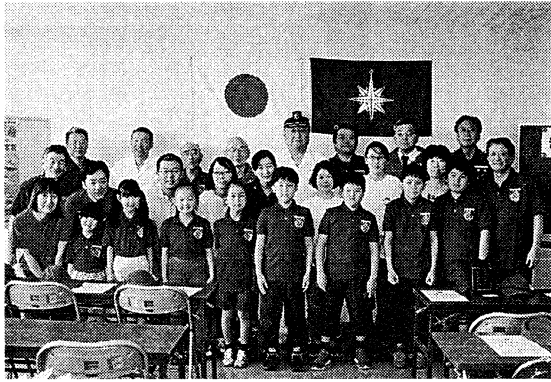
新千葉新聞社

〒292-0067
木更津市中央2-10-3
電話 22-3849(本社)
FAX 25-1684
Email shinchiba@nifty.com
編集兼印刷発行人
石井久喜

正しい海の知識を持つ

木更津海上保安署で式典や巡視艇見学 入団式 開催

次代を担う少年たちが海に親しみ、正しい海の知識を持つことをねらいに、海洋国日本にふさわしい人間の育成を目指し活動している「きさらづ海洋少年団」(松本信夫団長、団員二五人)の平成二十九年度「入団式」が二十一日



(日)午前九時から、木更津海上保安署で開催された。入団式には、団員八人、小川義明、木更津海上保安署長、保護者・指導員・団役員・保安

署員等四十人が出席。今年度の新入団員は紺のユニフォーム(当日暑さのため配布のポロシャツ)で緊張気味に式典に臨んでいた。

国歌斉唱、「海洋少年団ちかいのことば」を宣誓した後、松本団長から団員一人ひとりに入団証が手渡された。

松本団長や小川署長は、「海洋少年団という全国組織の一員として、広大な海を舞台にルールやマナーを順守し、心身ともに健康で逞しい人間づくりを今後も実践していく」と決意を述べ、物心両面にわたり多大な支援をしてくれる後援会の漁業関係者などに深く感謝した。

式典に続き、巡視艇見学では、船長・機関長などの厚意で、放水

アパート管理なら
epm不動産
TEL 0438-98-6300

艇の操作を体験、巡視艇の役割や活動等も学んだ。

海洋少年団の中央組織は、公益社団法人日本海洋少年団連盟(名誉総裁、高円宮親王妃殿下)は、昭和二十六年に設立され、全国に約九十団の単位団、約三千八百人が活動している。千葉県下には六

団体が組織されている。きさらづ海洋少年団は平成十九年七月二十五日に発足、今年で十周年を迎えている。団員たちは、「海に親しみ、海に学び、海にきたえること」をモットーに、トレーニング(端艇、ロープワーク、手旗信号、水泳など)に積極的に加わり、ボランティア、国際交流等様々な活動に取り組んでいる。

入団資格は原則、幼稚園児〜高校生までと広く門戸が開かれている。

問い合わせは「きさらづ海洋少年団」事務局(セントラル棟)TEL 0438-1231-2009-1へ。

役員は次の通り・
▽団長 松本信夫(キミツ鐵構建設(株)会長)
▽副団長 大島博(セ

ントラル棟)常務取締役、海技従事者養成講師)、
則包辰男(海事コンサルタント、元海上保安官)
▽顧問 渡辺芳邦(木更津市長) (敬称略)